

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 08010060

政策目標	2	めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	8	子育て・子育ての充実	事業優先度	B		
単位施策	2	「子育て」支援の強化	政策事務分類	2 単独自治事務(個別計画)		
事業名	保育所給食調理業務委託事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	8 保育所		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	委託契約数		関係課	#N/A		
事業目標	1契約		ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業		
住民参加	無		関係例規・法令名			
住民協働			関係個別計画名			

全 体 計 画 事 業 内 容		平成 25 年度 事 業 内 容	平成 26 年度 事 業 内 容	平成 27 年度 事 業 内 容	平成 28 年度 事 業 内 容	平成 29 年度 事 業 内 容
計 画 内 容	保育所給食調理業務の委託	調理業務委託	調理業務委託	調理業務委託	調理業務委託	調理業務委託
	事業費(千円)	112,170	21,690	22,320	22,720	22,720
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	22,680	4,500	4,530	4,550	4,550
一般財源	89,490	17,190	17,790	18,170	18,170	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	81,410	19,832	20,469	20,319	20,790
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	19,437	6,961	6,033	2,283	4,160	
一般財源	61,972	12,871	14,435	18,036	16,630	
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	児童運営費保護者負担金 保育所職員等給食費負担金	【評価・実績】	調理業務委託の実施	調理業務委託の実施	調理業務委託の実施	調理業務委託の実施
			※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	1契約	1契約	1契約	1契約
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	91%	92%	89%	92%
	全体達成率	18%	36%	54%	73%	
	備考欄					

事業名	保育所給食調理業務委託事業	評価者 管理職 職氏名	保育所長	大水 麻理
		評価者 作成者 職氏名	児童保育係	藤澤 健人

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	保育所入所児童、職員	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	給食の提供に係る業務委託件数	
【抱える課題やニーズは】	保育所運営に係る調理業務の効率化及び給食の安全性	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	保育所給食における安全及び効率性の維持並びに労務管理業務の削減	① 委託契約数	目標年度	平成28年度
			目標値	1 契約
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	より安全安心な給食提供体制維持と業務全般を民間委託することにより必要な人的配置の確保と労務管理業務の削減を図る	②	実績値	1 契約
			達成度	100.0 %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	給食調理業務の民間委託	昼食、おやつ、行事食、食育、施設の一部清掃について業務委託		
	給食関係者との定期的会議	栄養士含む保育所職員と委託業者職員との給食会議を毎月開催し、給食全般の評価、検討会を開催(毎月1回)		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	保育業務において給食提供は必須であり専門業者に委託することで安全、安心が確保される
必要/概ね必要/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	専門知識、ノウハウが生かされた給食内容や、食物アレルギー対応など個々に合わせた臨機応変な対応が実施され、かつ衛生管理等が保たれている。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	業者の専任栄養士が常勤で配置されており常に入所児の状況に即した対応が可能となっている。保育士、保護者との連絡調整も適時行なわれ、調理担当職員の労務管理や事務的作業の効率化も図られている。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input checked="" type="checkbox"/>	人員削減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

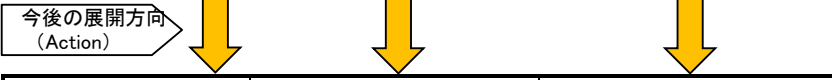
公平	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	児童に係る経費については保育料の一部から負担されており、職員については実費負担しており公平性が保たれている。
公平/概ね公平/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
保育所における給食は離乳食、アレルギー食、栄養管理、食育など多様な知識、技能と徹底した衛生管理等が必要。専門業者に委託することで労務管理も含めて食に関する安全性や効率性が維持できた。		



継続/現状維持		
専門業者の徹底した管理指導のもと今後も安心安全な給食提供のため引き続き外部委託による実施を行っていく。		

- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 - 終了 ○休止 ○廃止